

記者発表：徳島県政記者クラブ

平成28年3月25日  
四国地方整備局  
小松島港湾・空港整備事務所

## 撫養港海岸（競艇場前面区間）における 堤防の地震・津波対策が完了 ～平成28年4月17日（日）に完成式を挙行～

国土交通省四国地方整備局では、撫養港海岸（鳴門市）において、南海トラフを震源域とする地震による津波から、学校、病院などの公共施設や人口が集中している鳴門市の中心エリアを守ることを目的として、老朽化した堤防の嵩上げ及び液状化対策等を実施するほか、東北地方太平洋沖地震から得た教訓から、陸間の電動化や自動化を実施しています。

今般、当事業の全整備延長（2,590m）のうち、競艇場前面区間（490m）の整備完了に伴い、完成式を挙行しますのでお知らせいたします。

なお、背後で鳴門市が整備している鳴門競艇場スタンドは平成28年4月28日にリニューアルオープンを予定しています。

### ○撫養港海岸直轄海岸整備事業（競艇場前面区間）完成式

- (1) 日 時 平成28年4月17日（日）13:30～14:30
- (2) 場 所 徳島県鳴門市撫養町大桑島字<sup>すべりいわはま</sup> 湊岩浜48
- (3) 主 催 四国地方整備局
- (4) 参加予定者 国会議員・自治体関係者・地元関係者 他
- (5) 事業概要 資料1を参照ください。

※取材については、別紙取材申込書により、事前にFAXでお申し込みください。  
（お申し込み期限：平成28年4月14日（木）17時まで）

※この施策は、四国圏広域地方計画「No.6 防災力向上プロジェクト」の取組に該当します。  
※この施策は、四国地震防災基本戦略の取組に該当します。

[問い合わせ先] ◎ 主な問い合わせ先  
国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所  
TEL：0885-32-3357  
FAX：0885-35-0010

副所長 小松 浩二  
◎沿岸防災対策官 大野 誠彦

### 昭和南海地震から70年

今年、1946年12月21日の昭和南海地震発生後70年目にあたります。四国地方も昭和南海地震により、甚大な地震・津波被害を受けました。

四国地方整備局では、地域の皆様に、津波防災対策やその重要性について一層の理解を深めて頂く観点から、平成28年度は年間を通じて、津波対策に関する講演会その他行事の開催の機会に、昭和南海地震について改めて紹介していく予定です。

# 撫養港海岸直轄海岸整備事業の概要

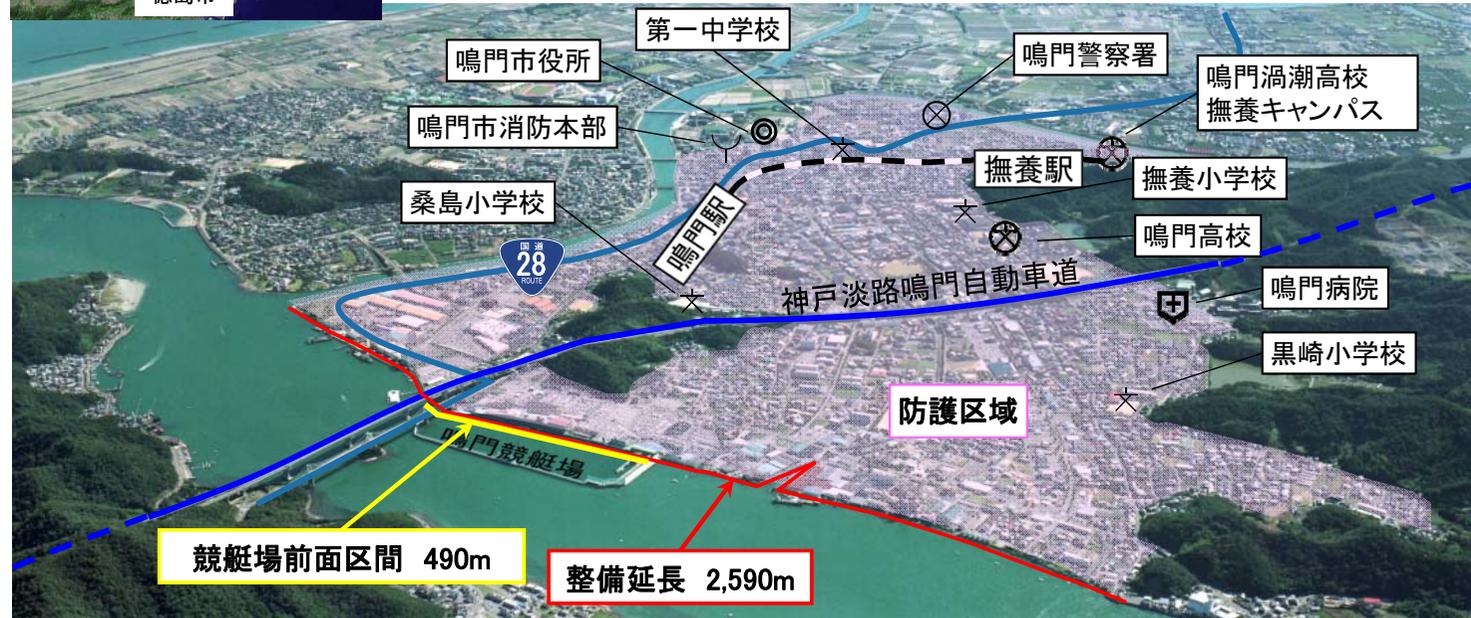
南海トラフを震源域とする地震が発生した場合、建設後50年が経過し老朽化した既設堤防の倒壊・沈下が予想され、その後に襲来する津波から背後地を防護できない状況にあります。このため、堤防の嵩上げや液状化対策、陸閘の整備等を実施しています。



競艇場前面区間全景(2016.3撮影)



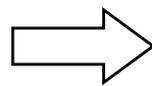
整備期間 : 平成18年度～平成28年度  
 (競艇場前面区間490mは平成28年3月完成)  
 整備延長 : 2,590 m【堤防改良、陸閘新設、陸閘改良、水門改良】  
 防護人口 : 約10,200人  
 防護面積 : 330 ha



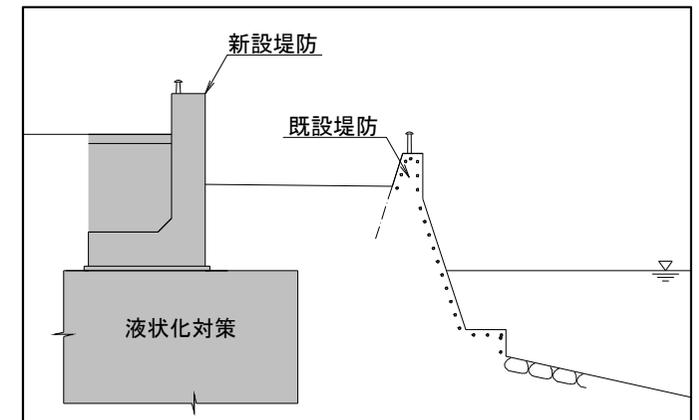
競艇場前面区間の特徴 : 既設堤防の嵩上げではなく、5m程度セットバックして堤防を新設することにより、堤防の高さと、景観や親しみやすさを両立



整備前の状況



堤防整備状況(2016.2撮影)



標準断面図(競艇場前面区間)



小松島港湾・空港整備事務所 宛

FAX:0885-35-0010

撫養港海岸直轄海岸整備事業(競艇場前面区間)

完成式

取材申込書

貴社名		
連絡先	TEL:	FAX:
代表者		
	所属	氏名